



# 高校ラグビー “佐賀工 2回戦で涙呑む”

## 〔第104回全国高校ラグビーフットボール大会・観戦記〕

▶昨年(令和6年)暮れの12月27日に東大阪花園ラグビー場で開幕した全国高校ラグビーフットボール大会に、佐賀工業高校は43年連続、53回目の出場を果たしました。

今回の佐賀工チームは前回のAシードと違い、佐賀県大会・九州大会、そして夏季全国大会での苦戦を乗り越えての出場で、大会初日の1回戦から登場しました。

▶1回戦は愛媛県代表の松山聖陵高と対戦。前半は常に相手校のゴールラインへ攻め込むが思うように得点に繋がらず苦戦の展開。後半は逆に相手校に隙を与えるような展開もあったが、何とか底力を発揮して**29:19**で勝利し、2回戦へと駒を進めました。

▶2回戦は大阪府の強豪校である東海大大阪仰星高と対戦。応援側の誰もが今回最大の関所と考えており、何とか接戦を期待しました。前半は佐賀工が“オッセ！押させ！”の大声援の中、終始相手ゴールへと押し込むが中々ゴールは遠く、相手側の反則から得たPGのみの**3:0**で終了。“ここ迄は、佐賀工FWの力が上回った展開！”

後半は開始後にいきなりスクラムでのトライを奪い、ゴールも決まって**10:0**で更にリードを広げる展開となり、“これなら最後まで行けるぞ！”と応援側の誰もが勝利を確信したに違いありません。

然し、後半半ばに一寸の隙を突かれ相手に初トライを許して、その後は相手側の勢いに呑まれる展開となり、更に1トライを献上して逆転され、悲痛な“試合終了！”の笛がなりました。結果は**10:14**、涙呑む惜敗！その後、大阪仰星は調子付き決勝戦へと進み準優勝です。

▶この試合の結果に選手も応援側も啞然となり目頭を覆う人や残念がる人の姿を多く見掛ける。然し、最後は“強豪に対して良く戦った！”と、この戦いに満足したような光景を多々見受けました。

▶大会後、ラグビー部OB同窓生曰く、「来年は伝統的な強靱なFWに、もっと走力を鍛えて、テンポの速いボール回しで多彩な攻めが出来るチームづくりを期待したい……」と。

☆今大会の佐賀工業高校の戦績は以下の通りです。

- ・[1回戦]佐賀工 **29:19** 松山聖陵(愛媛)
- ・[2回戦]佐賀工 **10:14** 東海大大阪仰星(大阪) 以上。

〔記事・写真提供〕 佐賀工業高校同窓会関西支部広報担当



↑[1回戦]攻め込むが攻めきれず……



↑[2回戦]スクラムからの展開が課題か？



↑[終了後]戦い終えて涙ぐむ選手たち



↑[応援団]負けたのが信じられない？！



←[同窓会関西支部応援団]

また、来年を期待しているぞ！

“もえろ！燃えろ佐賀工！”